

岳精流吟魂碑除幕式も祝す
武田静山

将に綻ばんとす 韶光池畔の桜
吟魂石に刻む 会心の晴

岳精の神髓真善美
賀客喜び乾す 寿宴の觥

【作者】武田静山（一九二二〜一九八三年）（大正一年〜昭和五十八年）・山形県東村山郡（現・山形県山家本町）に生れる。本名・昌俊。岩手医学専門学校（現 岩手医科大学）卒業後、軍医大尉として北支駐屯軍に勤務、戦後 山形市内に内科「静山堂」を開業し地域医療に尽力され、勲五等瑞宝章を受章、昭和五十年頃より本格的な作詩活動を始められた（総数六〇〇首以上）。岳精流日本吟院にも貢献され、顧問も務められた。昭和五十八年二月十五日 七十歳で亡くなられた。

【語釈】*真・善・美しん・ぜん・び…
認識上の真と、倫理上の善と、審美上の美。人間の理想としての普遍妥当な価値をいう。